

## 八谷和彦 | Kazuhiko HACHIYA

- 1966 佐賀県出身  
1989 九州芸術工科大学(現・九州大学芸術工学部)画像設計学科卒業  
2010 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 准教授  
2021 東京藝術大学 美術学部 先端芸術表現科 教授

### 主な個展

- 2022 「特別展「M-02JとHK1」～無尾翼機に魅せられて～」あいち航空ミュージアム、愛知  
2021 「秋水とM-02J」無人島プロダクション、東京  
2018 「PetWORKsの仕事と野望 -All about PetWORKs-」スパイラルガーデン、東京  
2013 「OpenSky3.0 -欲しかった飛行機、作ってみた-」3331Arts Chiyoda、東京  
2011 「OpenSky in KIRISHIMA 八谷和彦展」霧島アートの森、鹿児島  
「八谷和彦の見える世界のひろげかた『魔法かもしれない。』」SKIPシティ 彩の国ビジュアルプラザ 映像ミュージアム、埼玉  
2010 「八谷和彦《OpenSky》プロジェクト」金沢21世紀美術館、石川  
2008 「OpenSky RollOut」スパイラル、東京  
「メディアラボ第2期展示: 八谷和彦 魔法かもしれない。」日本科学未来館、東京  
2007 「八谷和彦」初「ドローイング展 -手で描いたものしか出しません」無人島プロダクション、東京  
2006 「八谷和彦 -OpenSky 2.0」NTTインターコミュニケーション・センター[ICC]、東京  
2003 「OPEN SKY 八谷和彦展 -ポストペットからメーヴェまで」熊本市現代美術館、熊本  
1999 「Air Board β - for the Jet Generation」ギャラリーアート倉庫、東京  
1996 「見ることは信じること」広島市現代美術館、広島  
「ラブダブラー」三菱地所アルティウム、福岡  
1995 「ワールドシステム」スパイラル、東京  
1994 「オーヴァーザレインボウ」P3 art and environment、東京  
1993 「インターディコミュニケーション ワンナイト・エキシビジョン」レントゲン藝術研究所、東京

### 主なグループ展、ワークショップほか

- 2022 「新しいエコロジーとアート」東京藝術大学大学美術館 本館3F / The 5th Floor、東京  
2020 「柏飛行場と秋水 - 柏の葉 1945-2020」柏の葉T-SITE、千葉  
「Permeable dimension wall: Taiwan - Japan Comic Aesthetics & Contemporary Art」国立台湾美術館、台中、台湾  
2019 「EAA AirVenture Oshkosh」ウイットマン・リージョナル空港、オッシュコシュ、アメリカ(展示とデモフライト)  
「移植」無人島プロダクション、東京  
2018 「三人展 - Forward Stroke 明日への眼差し -」佐賀県立美術館、佐賀  
「エキソニモ×YCAM『メディアアートの輪廻転生』」山口情報芸術センター[YCAM]、山口  
2017 「ジャパノラマ Japanorama 1970年以降の新しい日本のアート」ポンピドゥ・センター・メッス、フランス  
「コレクション展2 死なない命」金沢21世紀美術館、石川  
2016 「EDITIONS++」無人島プロダクション、東京  
2015 「八谷和彦『視聴覚交換マシン』を体験しよう！」(ワークショップ)豊田市美術館、愛知  
2014 「無人島∞」無人島プロダクション、東京  
「サマースカイフェスタ2014(公開テスト飛行)」たきかわスカイパーク、北海道  
「プレイヤーズ 遊びからはじまるアート展」アーツ前橋、群馬  
「開館20周年記念 MOTコレクション特別企画 クロニクル1995-」東京都現代美術館、東京  
2013 「日経アートプロジェクト」スペースニオ アートギャラリー、日本経済新聞社東京本社、東京  
「オープンスペース2013」NTTインターコミュニケーションセンター[ICC]、東京  
2011 「Trans-Cool TOKYO Contemporary Japanese Art from MOT Collection」台北市立美術館、台北、台湾  
2010 「Trans-Cool TOKYO Contemporary Japanese Art from MOT Collection」シンガポール美術館(8Q)、シンガポール  
「サイバーアーツジャパン - アルスエレクトロニカの30年」東京都現代美術館、東京  
「移動 ~ 無人島 in 高円寺での最初で最後のグループ展 ~」無人島プロダクション、東京  
2009 「ヨコハマ国際映像祭2009: CREAM」新港ピア(横浜)、神奈川県  
「アルスエレクトロニカ2009 Device Art展」Ars Electronica Center、リンツ、オーストリア  
「MOTコレクション 夏の遊び場 - しりとりに、ままと、なぞなぞ、ぶらんこ」東京都現代美術館、東京  
「どろどろ、どろん 異界をめぐるアジアの現代美術」広島市現代美術館、広島  
2008 「コレクション展2 他のお客様の迷惑となりますので、展示室ではお静かにご鑑賞ください。」広島市現代美術館、広島  
「金沢アートプラットホーム2008 - 自分たちの生きる場所を自分たちでつくるために -」金沢市民芸術村、石川  
「第3回 南京トリエンナーレ」南京、中国  
「MOT コレクション: サバイバル・アクション」東京都現代美術館、東京  
「KITA!! Japanese Artists Meet Indonesia」Jogja National Museum、ジョグジャカルタ、インドネシア  
2007 「豊田市美術館 夏のワークショップ『視聴覚交換マシン』を体験しよう！」(ワークショップ)豊田市美術館、愛知

- 「MOTコレクション」東京都現代美術館、東京  
「FEEDBACK」LABoral Art and Industrial Creation Centre、ヒホン、スペイン  
「GUNDAM—来たるべき未来のために」京都国際マンガミュージアム、京都  
2006 「文化庁メディア芸術祭10周年企画展：日本の表現力」国立新美術館、東京  
「デジタル遊園地—ネットワーク・アートの未来」長崎県美術館、長崎  
「のりものワールド」名古屋市科学館、愛知  
「GUNDAM—来たるべき未来のために」せんだいメディアテーク、宮城(高浜市やきもの里かわら美術館 愛知、札幌  
芸術の森美術館 北海道へ巡回)  
「コレクション展 I」金沢21世紀美術館、石川  
2005 「SKY-HIGH(スカイ・ハイ)」キリンプラザ大阪、大阪  
「GUNDAM—来たるべき未来のために」サントリーミュージアム天保山、大阪(上野の森美術館 東京へ巡回)  
「愛・地球博」グローバルハウス、愛知  
2004 「Climax ? the Highlight of Ars Electronica」国立台湾美術館、台中、台湾  
「ミッション：フロンティア—知覚の宇宙へ」東京都写真美術館、東京  
「KITTY EX.(キティ・エックス)」森美術館、東京/ラフォーレミュージアム原宿、東京(ほか国内7カ所巡回)  
「六本木クロッシング：日本美術の新しい展望2004」森美術館、東京  
2003 「ひととロボット—電脳空間の夢想」国際交流基金パリ日本文化会館、パリ、フランス  
「サイバー・アジア—メディア・アートの近未来形」広島市現代美術館、広島  
2002 「映像体験ミュージアム—イマジネーションの未来へ」東京都写真美術館、東京(ほか国内5カ所巡回)  
「JAM：東京—ロンドン」東京オペラシティアートギャラリー、東京  
2001 「エゴファーガル—第7回イスタンブール・ビエンナーレ」イスタンブール、トルコ  
「JAM：Tokyo-London」パーピカン・ギャラリー、ロンドン、イギリス  
2000 「ギフト・オブ・ホープ—21世紀アーティストの冒険」東京都現代美術館、東京  
「milk：2005年愛知万博用公開実験」外苑前路上、東京  
1999 「時の変化」ボン美術館、ボン、ドイツ  
「ファンシー・ダンス—1990年以降の現代日本美術」アートソング・ミュージアム、慶州(アートソング・センター、ソウル、韓国へ巡回)  
「ファースト・ステップス—日本の新進作家(フィリップ モリス アート アワード1998)」グレイ・アート・ギャラリー、ニューヨーク、アメリカ  
1998 「大分国民文化祭」B-con Plaza、大分  
「Art & Edition - électroniques au japon」レオナルド・ダ・ヴィンチ大学、パリ、フランス  
1997 「第7回ふくいビエンナーレ—メディアと身体」福井市美術館、福井  
「PostPet.EX」ナディッフ、東京  
「Cyber '97」ベレム文化センター、リスボン、ポルトガル  
「ドリーム・オブ・イグジステンス—日本の若手作家」キシュツェツリ美術館、ブダペスト、ハンガリー  
「EXIT」クレティユ美術館、クレティユ、フランス  
「デ・ジエンダリズム—回帰する身体」世田谷美術館、東京  
1996 「大アート展」ラフォーレミュージアム原宿、東京/天保山現代館、大阪  
「アートシーン90-96—水戸芸術館が目撃した現代美術」水戸芸術館現代美術センター、茨城  
「アートは楽しい7 IN/OUT」ハラミュージアムアーク、群馬  
「On Camp / Off Base」東京ビッグサイト、東京  
「美術×∞=◎展」サムミュージアム、大阪  
1995 「New Asian Art Show 1995」キリンプラザ大阪、大阪/国際交流フォーラム、東京  
「プロジェクト「メガ日記」ICCnet、インターネット、ニフティサーブ  
「ハチヤ博士の実験塔」(ワークショップ) 広島市現代美術館、広島  
「TRANS IMAGE—視覚で遊ぶ夢の映像装置展」タワーギャラリー横浜、神奈川  
「Photogenetics」(ワークショップ) 東京都写真美術館、東京  
1994 「'94 北京国際交換芸術祭」首都師範大学美術館、北京、中国  
「こどものためのワークショップ」(ワークショップ) 霊山子供の村、福島  
「IZUMIWAKU Project」和泉中学校、東京  
「なすび画廊」早稲田松竹、東京/和泉中学校、東京/メモリーズギャラリー、愛知/ミュージアム・シティ・天神、福岡  
「新宿少年アート」新宿路上、東京  
1993 「COM-ART Festival」水原、韓国  
1992 「第3回ビデオ・テレビ・フェスティバル」スパイラル、東京  
「ビデオアート以後のビデオアート」町田市立国際版画美術館、東京

#### キュレーション、プロデュース

- 2011 「ガイガーカウンターミーティング」3331 Arts Chiyoda、東京  
2010 「日本のデザイン2010 トウエンティ・テン」東京ミッドタウン・デザインハブ、東京  
「エクストリームDIYワークショップ『エクストリーム・エクスペリメント』」中川基/荻野剛/鈴木ヒロシ  
3331 Arts Chiyoda、東京  
「空フェス！～みんなで羽ばたき飛行機を飛ばそう」3331 Arts Chiyoda、東京

## 主な受賞歴

- 2002 「The Hugo Boss Prize 2002」
- 1998 「アルス・エレクトロニカ賞」ネット部門 準グランプリ(《ポストペット》)  
「フィリップ モリス アート アワード 1998」(「エアボード」プロジェクト)
- 1997 「'97 マルチメディアグランプリ」通商産業大臣賞(《ポストペット》)  
「'97 マルチメディアグランプリ」ネットワーク部門最優秀賞(《ポストペット》)  
「アルス・エレクトロニカ賞」インタラクティブ・アート部門 入賞(《見ることは信じること》)
- 1996 「アルス・エレクトロニカ賞」インタラクティブ・アート部門 入賞(《視聴覚交換マシン》)
- 1995 「第4回ジャパンアートスカラシップ」グランプリ(《ワールドシステム》)  
「名古屋国際ビエンナーレ アーテック '95」入選(《視聴覚交換マシン》)
- 1993 「'93 マルチメディアグランプリ」展示映像部門 奨励賞

## パブリックコレクション

東京都現代美術館  
金沢21世紀美術館  
豊田市美術館  
広島市現代美術館  
熊本市現代美術館